針生検(コアニードル生検)

細胞診よりもやや太目の針(16Gや14Gなど)を用いて、病変の一部を円筒状に抜き取って検査をします。通常、痛み止め(局所麻酔)を用いて行ないます。この検査は細胞診ではなく、組織診であるため、より確実な診断が可能であり、この結果で術前の確定診断といたします。結果が出るまでには1~2週間ほどかかります。乳がんの場合には、ホルモン受容体やハーセプチンなどの検査も行なうことができます。